

書籍紹介のご案内

エックス線作業主任者試験 公表問題の解答と解説 2022

編集：(一社)日本非破壊検査協会 編集委員長 協部 康彦
体裁：B5版, 174頁
発行：令和4年4月1日
定価：3,352円(税込価格) (送料別)

本書は、エックス線作業主任者試験を受験する方々に活用してもらうことを目的として編集した受験参考図書である。

エックス線作業主任者試験では、「エックス線の管理に関する知識」、「エックス線の測定に関する知識」、「エックス線の生体に与える影響に関する知識」及び「関係法令」の四つの科目について各々10問ずつ出題される。試験問題は五肢択一式で、計算問題も4問程度出題されている。試験に合格するには広い範囲の知識が必要であり、試験の難易度はかなり高いが、これからエックス線作業主任者資格を取得しようとする人のために、毎年2回、その年の試験問題が公表されている。

本書では直近2年分の公表問題について解答・解説を行っており、今回の改訂では、2020年及び2021年に公表された試験問題を対象としている。また、巻頭の「過去6年間の公表問題からみた出題傾向」をもとに、直近4回の公表問題にはないが、今後も出題が予想される問題を第5章に練習問題としてまとめ、解答・解説を加えている。

各問題の解答には解説を記載しているが、解説の理解を確実にするために、第6章として「用語の解説・関連法規(抄)」を設け、必要に応じて、解説で引用している。

別売の「エックス線作業主任者用テキスト2009」を併用して知識を深めていただきたい。

電離放射線障害防止規則(以下、「電離則」)が改正され、2021年(令和3年)4月1日から施行・適用されています。今回の改正では、眼の水晶体の被ばく限度等の見直しが行われています。本書では、第6章に電離則の改正箇所について改正前と改正後を対比させて掲載するとともに、改正箇所に関連した問題の解答・解説に注記として解説を追記しています。

